

侵入生物データベース(維管束植物)

種類 維管束植物

和名	シナダレスズメガヤ	
別名	ウイーピングラブグラス、セイタカカゼクサ	
学名	Eragrostis curvula (Schrad.) Nees	
英名	Weeping Lovegrass, African lovegrass	
分類	単子葉植物	科名 イネ科
形態的特性	0.6~1.2m、叢生して密な大株となる	
原産地と分布	南アフリカ原産、南北アメリカ、南ヨーロッパ、アジア、オセアニアに分布	
侵入年代	1960年	
侵入経路	法面緑化、砂防用として北アメリカから輸入	



生物学的特性

気候帯	温帯~熱帯	開花期(月)	8~10
生活型	多年草	繁殖方法	両性花、風媒花
生育環境	牧草地、路傍、荒地、河川敷	利用方法	飼料(種子生産量は極めて多い)、根茎
その他の生態的特性	日当たりが良く、砂質土壌を好む。耐暑性と耐旱性は強いが、耐陰性と耐湿性は弱い。		
遺伝的特性	栽培用に品種改良されている。染色体数 $2n=20-80,42,63$ などの異性体もあつてはなはだ多型である。		

影響と対策

近縁種(同属種)	スズメガヤ属は世界で約300種が知られる。日本には数種が自生する。ヌカカゼクサ、イトスズメガヤ、スズメガヤ、カゼクサ、コゴメカゼクサ、ニワホコリ、オオニワホコリは史前帰化植物。本種以外にアメリカカゼクサの野生化が報告。
影響を受ける生物	
影響の受け方	在来種(河原の固有種、比叡山)との競合、河川敷での土砂の堆積による環境改変
駆除法、天敵	抜き取り、刈り取り
法的規制	無し
人的被害	